

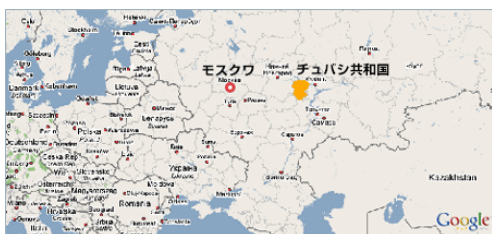
## ロシア紀行 第1回

意外に知られていないロシアの素顔

初めまして。一般社団法人日本・ロシア連邦チュヴァシ共和国友好協会の田村文彦です。当協会は、日本とロシアの友好親善、学術及び文化、経済交流を盛んにして交わりを深めて行き、ビジネス展開がスムーズに行くよう中小企業応援のための団体です。今回から「ロシア紀行」と題してロシア連邦の社会や経済についてご紹介したいと思います。

### チュヴァシで当協会を創設

当協会は全ロシアをテリトリーとして活動を行っていますが、モスクワから東に630kmのチュヴァシ共和国の首都チボクサリーで創設致しました。チボクサリーは、日本の宮崎のようにロシアのナショナルチームや各スポーツチームがキャンプ地として使用しており、とても美しい街として有名です。街の横には大河「ボルガ河」が接しており、タンカーやコンテナ船・一般貨物船等が航行しています。12月から3月上旬まではすべて凍り、車が走っている光景を良く見かけます。



第1回はロシアを紹介します。初めてお会いする人がいきなりビジネスの話が出来ないように、互いの人間性等を理解した上で進めるのが一番の早道です。約10年、ウ

ラジオストックに拠点を置いているある日本の中小企業の社長が、モスクワを訪問してもあまりにも大都会で、どこに誰がいるのかも解らないまま観光ただけで帰国したと聞きます。気の毒ですが、ロシア中枢のモスクワのネットワーク作りをしっかりとっておかないと何も出来ません。ブローカーはたくさんいますが、間違っても交流してはいけません。窓口を間違うとずっと間違った道を歩く事になります。この事は、どこの世界も同じです。

ロシアを紹介するには奥が深すぎるので、一般的な常識に基づいて読者にお知らせする事が一番でしょう。ロシアの人口は1億4千万人、国土の広さは米国の2.5倍・日本の45倍です。極東ロシアのウラジオストック駅からモスクワ駅までのシベリア鉄道の距離は9297kmで、1週間かかります（成田空港からは飛行機で約10時間）。大豆や小麦粉等は大量に生産され、輸出に回されています。今年の夏は異常気象で、ロシア西部はダメージを受けましたが極東やシベリアでは豊作です。他にトウモロコシ等も栽培されており、日本の畜産農家としても興味があるところでしょう。

### 報道と違うロシアの現状

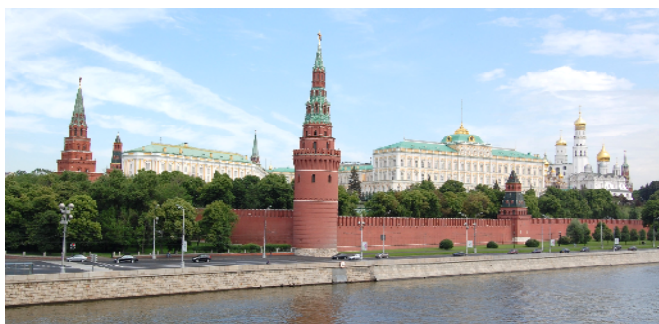
もっとも日本人のイメージとして、ロシアは現在も行きづらい国というのが現実でしょう。私も訪問する前までは、「スパイの国」、「一度訪問したら帰国出来ない国」等、毎日事件ばかりが発生する国として、数え上げたらきりがなくらいの報道で洗脳されて来ました。

しかし、現地の動きと日本の報道が伝えて来る内容は大きく違っていました。2007

年 11 月頃より日本の報道各社がやっと、まともな記事やニュースを報道し始めました。大見出しで「資源大国・ロシア」と初めて出すようになって、今までが何だったのかと不思議で仕方がありません。

## ロシア人は農耕民族

モスクワ・クレムリン宮殿を中心とする



共産主義国家として 69 年もの間、政権が続きました。1991 年 12 月 26 日から民主化されたロシア連邦は、大多数の人々が民主主義を理解出来ず、何でも出来る環境になったとは言え、ほとんどの人々はその答えを見いだせませんでした。日本で言えば、徳川の世から明治維新を迎えた時、多くの武士が藩から録を貰う事が出来ず、自らの手で家庭を守るため収入源を探す事となりましたが、ロシアも日本と同じような道を歩む事となりました。ロシア紙幣であるルーブルは価値が下がり、人々の生活は苦しい局面を迎えます。100 ドル紙幣で、高額な品々と交換出来た時期でもありました。

ロシアの人々の多くは小さな小屋に近い家屋から別荘に至るまでの「ダーチャ」という住居と畑を持っています。週末は家族でダーチャに出かけて農作物を大切に栽培しています。この家庭菜園が激動期の餓えを凌ぎ、政権の端境期を乗り越えて行きま

した。土に触れるのが好きな人々が多いのは今も変わっていません。ある意味、農耕民族と言っても過言ではありません。

## ウォッカよりビールが若者で流行

ロシアの男性は大男で、日本人からは無表情で怖いと見られています。もともと日本人はロシア人に比べて小さいのでやむを得ませんが、69 年間の共産主義体制に逆らう事も出来ず、次第に変化して来たと思います。しかし、一度会って酒でも飲みながら話をすると、素敵な男性が多く、無表情な顔が本来の顔に戻ります。昭和 30 年代の頃の日本と同じように心が温かく、日本の演歌の歌詞に出て来る言葉そのものの感じがします。実際、加藤登紀子さんが歌う「百万本のバラ」もロシアで歌い継がれていますが、歌詞の意味は違っても日本で広まりました。

食事は野菜料理から各種スープ・肉や魚料理に至るまで多岐にわたり、日本人には良く合います。ロシア人はウォッカばかりを飲んでいるようなイメージですが、現在はワインやビールが中心です。遠路、友人が尋ねて来たりすると、長老がウォッカを提供したりしますが、若い人々はあまり飲みません。ビールもロシア産やチェコ産のビールが主流ですが、スーパーマーケットの酒類コーナーには「アサヒスーパードライ」が販売されているので、日本人としては嬉しいものです。もっとも、「生」ではなく、「ラガー」ですが、通常飲んでも解らないと思います。

田村文彦氏のプロフィール

1940年11月3日大阪府生まれ、早稲田大学第二政経学部卒。現在、株式会社ユー・エス・エス（東証1部上場）代表取締役副会長。一般社団法人 日本・ロシア連邦チユヴァシ共和国友好協会会長、一般財団法人 美しい日本創造機構 会長

〒812-0872 福岡市博多区春町 3-5-18

TEL092-502-3753

E-Mail [tamura@japan-chuvash.com](mailto:tamura@japan-chuvash.com)

URL <http://www.japan-chuvash.com>

